



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 カッパ・クリエイイト株式会社

コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 小林 元樹 TEL 045-224-7095

四半期報告書提出予定日 2018年8月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	19,124	△1.5	108	△44.2	166	△31.4	100	△22.0
2018年3月期第1四半期	19,420	2.2	193	-	242	-	129	-

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 101百万円 (△36.9%) 2018年3月期第1四半期 161百万円 (391.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	2.07	2.07
2018年3月期第1四半期	2.66	2.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	31,810	11,782	36.9	240.95
2018年3月期	32,027	11,914	37.1	243.70

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 11,748百万円 2018年3月期 11,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
2019年3月期	-	-	-	-	-
2019年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2019年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,533	3.6	1,631	331.5	1,714	231.7	798	△1.5	16.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	49,414,578株	2018年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	658,048株	2018年3月期	665,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	48,752,451株	2018年3月期1Q	48,702,795株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、朝鮮半島における地政学的リスクが緩和された一方で、米国発の世界的な貿易摩擦の懸念や中東における政治的緊張の高まりなどの不安定要因が生じたものの、引き続き緩やかな景気拡大基調で推移いたしました。企業収益は概ね堅調に伸び、雇用環境も改善が進んでおりますが、個人消費につきましては、一部の富裕層による活発な動きを除くと、実質賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加等により力強さを欠いております。

外食業界におきましては、消費者ニーズの多様化や選別・節約志向に加え人件費・物流費の増加、食材価格の高騰、コンビニや食品宅配サービスなどの異業種との競合の激化、さらにはサッカー・ワールドカップの自宅観戦を目的とした早めの帰宅など、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社の主力事業である回転寿司事業におきましては、継続的なメニュー・商品の改良、ブランドイメージの持続的育成、並びにお客様への提供時間の短縮・商品再現性の向上を通じて、既存顧客の満足度向上と新規顧客の獲得に努めることで、既存店昨対比は堅調に推移いたしました。

また、店舗オペレーションの最適化の過程において、食材廃棄ロスの削減・勤務シフトの適正化にも並行して取り組むことで、全社的なコスト管理水準の引き上げを行ってまいりました。

以上の通り事業面は安定的に推移したものの、前連結会計年度まで連結子会社であったカップ・クリエイト코리아株式会社の連結除外による減収影響により、当第1四半期連結累計期間の売上高は191億24百万円(前年同四半期比1.5%減)、営業利益は1億8百万円(前年同四半期比44.2%減)、経常利益は1億66百万円(前年同四半期比31.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億円(前年同四半期比22.0%減)となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

<回転寿司事業>

継続的なメニュー・商品の改良におきましては、北海道産ボタンエビや貝の三種盛りなどを取り入れた「かっぱの春ネタ満開」フェアや、国産の生サーモンをはじめとした「国産生サーモンと極上ネタ祭り」フェアの開催など、「かっぱ寿司」でしか味わえない素材にこだわった新鮮で魅力ある旬のフェアに加え、多様化するお客様の嗜好にお応えすべく、「ビーフ100%ハンバーグ」や有名ラーメン店とのコラボレーションによる「海老ラーメン」を発売するなど、特徴のある商品開発に注力してまいりました。

また、ブランドイメージの持続的育成におきましては、回転寿司らしい「美味しさ」・「楽しさ」を表現した新CMの放映や上記新商品の発表会等を通じた業態認知度の向上、並びに様々なタイアップ企画による来店動機の喚起・充実に取り組んでまいりました。

加えて、店舗オペレーションの観点におきましては、引き続き商品・サービスの品質アップを中核として、不満足要因の排除とお客様満足度の持続的な向上に継続して取り組んでおります。

なお、先述の通り、連結子会社であったカップ・クリエイト코리아株式会社は、保有株式の譲渡に伴い、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は、上記連結除外による減収影響があったことから160億15百万円(前年同四半期比1.8%減)となりました。

<デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当・調理パン等に関し、既存顧客における取扱商品の拡充、新規取引先の発掘など販売強化に取り組むと共に、各拠点間での生産移管等を通じて、生産能力の充実と効率化を図っております。

以上の結果、デリカ事業の売上高は31億8百万円(前年同四半期比0.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間における総資産は318億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億16百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1億3百万円減少、敷金及び保証金が1億49百万円減少、未収消費税等が33百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結累計期間における総負債は200億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が4億12百万円減少、未払金が1億17百万円増加、未払消費税等が92百万円増加、株主優待引当金が84百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結累計期間における純資産は117億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億32百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払2億43百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益1億円により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年4月27日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,617	7,513
売掛金	2,080	1,982
商品及び製品	340	367
原材料及び貯蔵品	299	329
未収消費税等	345	378
その他	1,314	1,382
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,996	11,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,259	29,106
機械装置及び運搬具	4,229	4,232
工具、器具及び備品	4,528	4,522
土地	2,986	2,986
リース資産	2,120	2,094
建設仮勘定	58	59
減価償却累計額	△30,476	△30,301
有形固定資産合計	12,707	12,699
無形固定資産		
投資その他の資産	287	295
投資有価証券	852	853
敷金及び保証金	5,779	5,629
その他	324	304
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	6,946	6,777
固定資産合計	19,942	19,773
繰延資産		
社債発行費	88	83
繰延資産合計	88	83
資産合計	32,027	31,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,874	3,462
短期借入金	249	249
1年内返済予定の長期借入金	826	814
1年内償還予定の社債	1,110	1,110
未払金	1,573	1,691
未払費用	1,764	1,858
リース債務	393	350
未払法人税等	427	146
未払消費税等	404	497
賞与引当金	159	76
株主優待引当金	102	187
店舗閉鎖損失引当金	155	148
その他	267	942
流動負債合計	11,309	11,535
固定負債		
社債	3,795	3,795
長期借入金	800	600
長期未払金	2,234	2,198
長期預り保証金	93	97
リース債務	438	378
資産除去債務	1,388	1,385
繰延税金負債	14	14
その他	38	23
固定負債合計	8,803	8,493
負債合計	20,113	20,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,800	9,800
資本剰余金	2,263	2,266
利益剰余金	445	302
自己株式	△624	△617
株主資本合計	11,884	11,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△3
その他の包括利益累計額合計	△4	△3
新株予約権	34	34
純資産合計	11,914	11,782
負債純資産合計	32,027	31,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	19,420	19,124
売上原価	9,423	9,368
売上総利益	9,997	9,756
販売費及び一般管理費	9,804	9,648
営業利益	193	108
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	35	35
受取家賃	63	53
自動販売機収入	15	13
雑収入	24	15
営業外収益合計	152	132
営業外費用		
支払利息	13	11
社債利息	4	9
賃貸収入原価	55	44
為替差損	12	—
雑損失	17	8
営業外費用合計	103	73
経常利益	242	166
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産除却損	15	11
減損損失	32	—
特別損失合計	48	11
税金等調整前四半期純利益	194	158
法人税、住民税及び事業税	66	57
法人税等調整額	△0	—
法人税等合計	65	57
四半期純利益	129	100
親会社株主に帰属する四半期純利益	129	100

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	129	100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	31	—
その他の包括利益合計	31	0
四半期包括利益	161	101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161	101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。